

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす [ファイン・ファイネット]

# FINE FINET

[Finet Feature Articles]

## GTIN-EDIを利用した 販促金EDIの普及に向けて

サントリービジネスエキスパート株式会社  
ビジネスシステム本部 グループ情報システム部 部長

谷川 功 様

加藤産業株式会社  
情報システム部 部長

高原 一夫 様

## ファイネット・ヘルプデスク便り

[Finet Information]

全銀協TCP/IP手順への移行状況!

商品流通VAN・WebEDI メーカー向け新サービス開始

~WebEDIで販売実績データ、販促金データの送受信が可能に!~

Vol. 23  
2012 Spring  
ファイネット発行

# GTIN-EDIを利用した 販促金 EDIの 普及に向けて

近年、酒類・加工食品業界において情報システムの重要性が増しています。業務効率化・省エネ化を実現するために、今年からGTIN-EDI利用の販促金EDIをスタートさせたメーカー・卸店の皆様に導入のいきさつと現状の取り組みなどをうかがいました。(本文敬称略)



[出席者] 左より

サントリービジネスエキスパート株式会社

ビジネスシステム本部 グループ情報システム部 部長 谷川 功 様

加藤産業株式会社

情報システム部 部長 高原 一夫 様

[司会] 株式会社ファイネット 常務取締役 藤田 弘和



## 業務効率化への取り組み状況

——情報システムを通じた業務効率化の取り組み状況を教えてください。

高原 メーカー様と一緒に、1回/月EDI<sup>\*1</sup>分科会という形で業務の標準化・合理化に取り組んでいます。最近

のテーマは、メーカー様からみた受注でのオンライン化率の向上と、弊社での買掛金照合システムでの照合率を上げることに取り組んでいます。これらのKPI<sup>\*\*2</sup>改善に向け阻害している要因分析を行い業務運用・情報システムの改善に取り組んでいます。また全体的な効率化という意味ではメーカー様とのEDIの推進があります。弊社のベースでいうと、仕入伝票枚数の50%ぐらいが

EDI化されています。未実施のメーカー様にEDIをやりましょうと3年間プッシュしてきました。約300社のメーカー様とEDIを実現できましたが、仕入伝票の枚数ベースで5%ぐらいしかアップしませんでした。これからもいろいろな方法を考え、地道に働きかけないと成果が出ないと痛感いたしました。

——サントリーさんの取り組みはいかがですか。

谷川 EOS<sup>※3</sup>に関しては、酒類は9割と比較的導入が進んでおります。食品が去年で6割強なので、これを7割に持っていきたいと考えています。その際の課題ですが、自動販売機で商品を扱っていただいているベンダーオペレーターさんのような業界は、標準的なデータ交換の仕組みが定められていません。そのためFAXでご注文をいただいております、必要なFAX-OCR機器の準備やご発注書を弊社で作成および送付などの付帯業務が発生しています。

## GTIN-EDIの導入

——今年から始めたGTIN<sup>※4</sup>-EDIを利用した販促金EDIについて、いきさつを教えてください。

谷川 EOS受発注のデータ化による業務効率化を推進する流れは以前からありましたが、販促金業務の効率化は手つかずの状態でした。2009年ごろから活動をはじめましたが、プライベートコードでデータ交換を行うと、データを社内システムで利用するためのコンバート業務が付带的についてきます。このコンバート業務についても省力化、効率化を図るためにGTINに取り組んでいったというのが弊社のいきさつです。

高原 弊社の現状は、発注データは全部弊社プライベートコードで送っています。出荷案内データはJANコードが80%、メーカー様のプライベートコードが20%。販売実績はJANが40%、弊社プライベートコードが50%、GTINが10%。販促金請求データは弊社プライベートコードが100%。メーカー様からもらう販促金支払データも、弊社プライベートコードが100%です。GTINの狙いは通常品とキャンペーン商品などJANでは区別がつかない商品を識別するものとして、メーカー様とのデータ交換において商品コードが統一されることであると考えています。

サントリーさんとは通常品とキャンペーン商品などを区別したいのでJANコードではなくGTINを導入しようということになりました。

販促金は、1ヵ月間で卸が売った商品に対する販促金を翌月の10日前後に請求データをお送りするもので、1

ヵ月間のデータをまとめて処理を行っています。そこで販促金請求データの作成直前にその月の実績から、JAN/弊社プライベートコードのテーブルをデータ化し、サントリーさんへ送信します。そして、該当するGTINコードをサントリーさんで付加していただき返信する方式としています。それを元に販促金請求データにGTINを付加しています。サントリーさんが識別できるEDIのGTINコードを付けてお渡しすれば、サントリーさんでのデータ変換作業が省力化されます。また、翌月は新製品だけなので事務量もそんなに多くはありません。現在取り組み始めて3ヵ月目ですが、当日送ってその日のうちにコードを付けて返していただいているという業務になっています。

谷川 販売実績は基本的に日次データが発生しますが販促金は月次でデータ交換をしますので、データエラーに対するメンテナンスを月単位で締めながら実現することができます。また、販促金は流通している主力商品や戦略商品が中心で、それらは販売実績を元としたデータになりますので、事前の販売実績を元にマスターを整備することができます。よって、受発注や販売実績等に比べると両社間のマスター整備が比較的容易にできるというメリットがあります。

高原 ここ4、5年、GTINが全然普及しませんでした。私どもは、GTINコードは商品を識別できるコードという認識にすれば、スムーズに業界に広まるのかなと思っています。このモデルができたので、GTINデータ交換をタイムリーかつ時間短縮するにはどうしたらよいか、また受け渡しの方式をどうしましょうとかいう議論が出てきます。実装できるデータ種からやり、実装して問題点を出すということで進展していくと考えています。

谷川 販促金は請求と支払いがデータとして対になっていることを前提としています。これを両社の仕組みとしてうまく活用することで、請求データのGTINコードが古かった場合に支払いデータのGTINコードを新しくセットすることで、請求と支払いのデータのやり取りだけではなく、GTINコードのメンテナンスに関しても、省力化できるのではないのでしょうか。初回のマスター整備以降、日々のメ



高原 一夫 様



谷川 功 様

メンテナンスは新商品の差分のみで、改廃の部分はデータ交換によって実現していく。この3ヵ月間で、データ交換におけるコードメンテナンスのモデルをある程度作る事ができたと感じています。

——加藤産業さんより早く、三菱食品さんとは2年ぐらい前から取り組んでいますね。進展具合はいかがですか。

谷川 三菱食品さんと始めさせていただく時には、酒類業界全体でも販促金によるGTINデータ交換の事例は全くありませんでしたので、とてもチャレンジablな取り組みでした。まずは安定稼働を図るため、両社間でマスターを完全整備するとともに、すべて手作業で差分としてコードメンテナンスを実現していくことを両社で決定しました。この三菱食品さんとの取り組みでGTINがデータ交換で利用できるという確証をある程度得て、加藤産業さんとの食品を中心とした取り組みでより一層の業務効率化に取り組んできたという状況です。

高原 GTINでやっているということは業界でもあまり知られていません。今回の取り組みによって、皆で検討できる共通の場ができたと感じています。卸にとっても、メーカー様にとっても仕組みを一つ作ってしまえばGTINに移行できると思います。販売実績に関しては、今年の9月ぐらいには酒類・加工食品業界標準化推進会議（以下、標準化推進会議）<sup>\*5</sup>に参加している全卸（8社）がやれると聞いています。

谷川 売り場によっては酒類・食品業界以外の卸さんを経由して商品が流通するケースもあります。そういった意味でも、酒類・食品業界内の標準化だけではなく、例えばプラネットさんのような他業界との連携も進めてほしいと思います。さらに、ファイネットさんを経由することで世界のどこにでもデータを送れるといったように、グローバル化を視野に入れたデータ交換ができることを目指してほしい。

ざっくばらんに話せたのも良かったですね。あの会議に参加しないと損であるというような雰囲気を作って、デファクトスタンダードを作り上げる場になればいいですね。

谷川 現在、データ交換はほとんどテキストデータですが、画像等のイメージデータについてもデータ交換のニーズが高まっています。例えば、卸さんや小売店さんからのFAXによるご注文をメーカー側がEDIデータとして取り込めるなどです。ファイネットさんがそういった基盤を構築し、新たなサービスとして業界に対して発信していく期待は非常に大きいのではないのでしょうか。高原 現在計画されている販促金請求書のペーパーレス化は卸にとって大幅な省力化、コストダウンが実現されます。今後この卸・メーカー様間でのペーパーレス化は商品代の請求書、販促金の支払明細書などメーカー様にとっても、また卸にとっても大きなメリットがありますのでどんどんメニューを増やして欲しいですね。

——双方向の部分は、われわれも課題だと思っています。

高原 ファイネットさんは、メーカー様との電子での取引データを全部扱っているのも、それを活用すれば電子商取引での帳簿保存策として活かせるのではないのでしょうか。国税局は、元データを残すよう指導しています。ファイネットさんで保管して、タイムリーに閲覧できるようにしていただく。7年分の生データを保存する必要があるのではビッグデータになりますが、その辺もぜひご検討いただければ、EDIの普及に弾みがつくのではないのでしょうか。

※1 EDI (Electronic Data Interchange) 商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。  
※2 KPI (Key Performance Indicator) 重要業績評価指標。  
※3 EOS (Electronic Ordering System) 企業間のオンライン受発注システム。  
※4 GTIN (Global Trade Item Number) 14桁からなる国際標準の共通商品コード。  
※5 酒類・加工食品業界標準化推進会議 2003年に発足した酒類・加工食品業界の業務効率化を目的に標準化のルール作りを推進する会議体。ファイネットが主催し、現在28企業のメーカー、卸店が参加している。

## ファイネットに期待する役割は

——ファイネットへの要望がありましたら、お聞かせください。

高原 標準化推進会議では情報を共有できました。また、

## ファイネット・ヘルプデスク便り

ファイネットの主要サービスには、商品流通VANサービス、資材VANサービスと商品情報DBサービスがあります。今回、商品流通VAN、資材VANのサポートを行っている「ファイネット・ヘルプデスク」についてご紹介いたします。

### ■ ファイネット・ヘルプデスクとは

ファイネット・ヘルプデスク（以下、ヘルプデスク）は、ユーザー様からのWebEDI操作説明や、データ送受信状況確認などの問い合わせ対応、回線エラーおよび、振分処理におけるエラー対応などを行う部隊です。ユーザー様がファイネットのシステムを使ううえで、様々な問題解決のための操作・技術支援を行います。



### ■ ヘルプデスクのサービス・業務概要とは

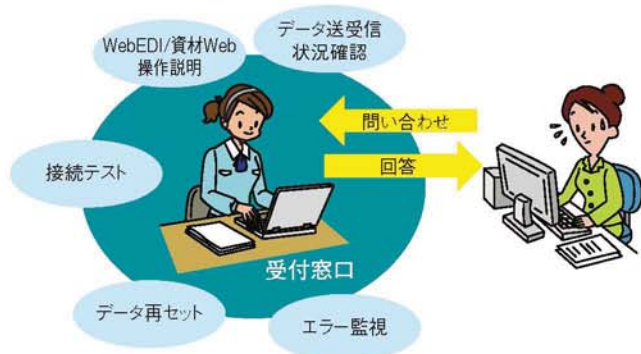
ヘルプデスクの主な対応内容は、以下の通りです。

- (1) 問い合わせ対応（データ送受信状況確認、WebEDIの操作説明）
- (2) エラー監視
  - ・ 回線断監視
  - ・ 振分エラー監視
  - ・ ファックス配信エラー監視
- (3) データ再セット
- (4) 接続テスト

なお、ヘルプデスクは、7:30~23:00（年中無休）で稼働しております。

#### 【ファイネット ヘルプデスク】

#### 利用企業様



### ■ 監視体制、ユーザー対応

ヘルプデスクは、CTI<sup>※</sup>システムとインシデント管理DB（問い合わせ履歴管理DB）を用い、電話と顧客データベースを連携して、ユーザー様の情報や、過去の応対履歴などを参照しながらサポートを実施しています。また、アラーム検知システムを配置して通信状況をリアルタイムで監視し、通信エラー発生時にはアラームが鳴動し、迅速に対応を行っています。

※ Computer Telephony Integration



### ■ ヘルプデスクのセキュリティ

ヘルプデスクは、様々なユーザー様の情報を取り扱います。よって、以下のようなセキュリティ施策を講じています。

- ・ 監視カメラ<sup>※1</sup>による執務スペース内24時間録画
- ・ オペレータ端末のシンクライアント化<sup>※2</sup>
- ・ 非接触型ICカード<sup>※3</sup> + 暗証番号認証による二重の入退室管理
- ・ 月1回のセキュリティ教育実施<sup>※4</sup>

※1：監視カメラは、ヘルプデスクのオペレータが不適切なオペレーションを実施していないことのエビデンスとして使用しています。

※2：シンクライアントは、クライアント側に最低限の機能しか持たせず、盗難・紛失や不正持ち出しによる情報漏洩を防止しています。

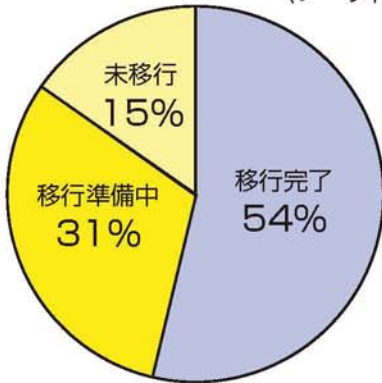
※3：非接触型ICカードは、厳しく暗号化されており、データの漏洩や改ざんを防ぐ仕組みになっています。

※4：オペレータに対し、月に1回様々なセキュリティ教育を実施し、セキュリティ意識の向上に努めています。

次回は、ヘルプデスクのサービスの詳細を紹介いたします。

# 全銀協 TCP/IP 手順への移行状況！

全銀協 TCP/IP 手順への移行状況  
(データ件数比)



※ 2012年3月末調べ

全銀協 TCP/IP 手順への移行について、ご協力いただきありがとうございます。

おかげさまで多くのユーザー様に移行していただいております。



**データ総件数の85%が  
移行完了および移行準備中です。**

## 【 全銀協 TCP/IP 手順への移行が困難なユーザー様へ！ 】

現行のJCA 手順、全銀協 BSC 手順のアクセスポイント利用期限を2012年6月末日まで延長しました。6月末日までに移行が難しいユーザー様には、暫定アクセスポイント<sup>※1</sup>への切替をお願いしております。

※1 「通常ダイヤル (東京)」と「ナビダイヤル」をご用意いたしました。

### 2012年6月30日までに全銀協 TCP/IP 手順への切替が？

切替が可能

切替が困難

6月末日までに暫定アクセスポイントへ切替をお願いします。

2012年7月以降、現行アクセスポイントへの接続ができなくなりますのでご注意ください。

2012年

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
現行アクセスポイントが利用可能な期間				▲7/1～現行のアクセスポイントが利用できなくなります。			
BSC 暫定アクセスポイント開設 <sup>※2</sup>							

※2 10月以降も暫定アクセスポイントのご利用が可能となっております。

◆本件に関するお問い合わせ◆

株式会社ファイネット運用管理部 【TEL】 03-5643-3410

【e-mail】 unnyoukanri@finet.co.jp

# 商品流通VAN・WebEDI メーカー向け新サービス開始

～WebEDIで販売実績データ、販促金データの送受信が可能に！～

従来、メーカーが販売実績データおよび販促金データを利用する場合、HOST接続のみ利用が可能でしたが、WebEDIでも利用が可能になりました。

販売実績データおよび販促金データを活用することにより、以下のメリットがございますので、当サービス開始を機にぜひご活用ください。

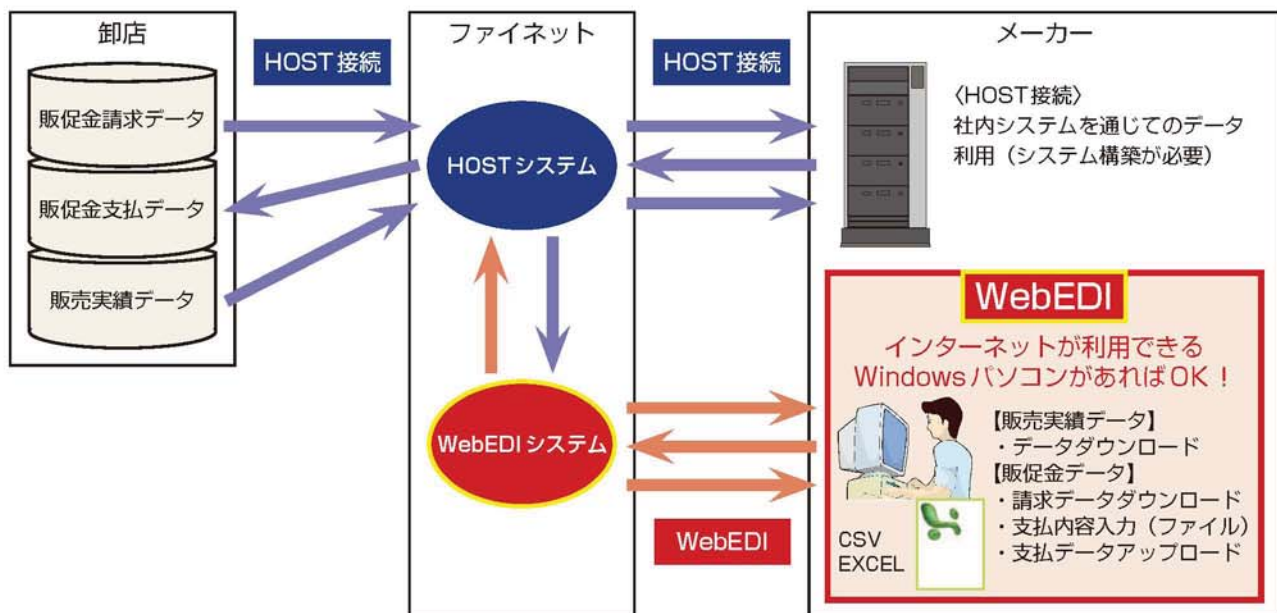
## ✓ メーカーのメリット

- ・ 販促金管理の精度向上  
請求額・支払額の一元管理 → 違算率の把握 → 違算解消に向けた改善取り組み
- ・ 販売実績、販促金データ集計作業の効率化  
入手データフォーマットの統一

## ✓ 卸店のメリット

- ・ 販売実績データ、販促金データのEDI化率向上

## ■ サービス内容



## ■ サービス開始

2012年4月2日～

## ■ 本サービスに関するお問い合わせ

株式会社ファイネット営業推進部

【TEL】 03-5643-3450

【e-mail】 info@finet.co.jp

## [Finet Event] ファイネット・イベント

## 2012年度ファイネットユーザー会を開催いたします

当会はファイネットの取り組み内容のご紹介とともに、ユーザー様間のご交誼を深めていただく目的で、毎年開催しております。

2012年度は6月7日（木）に東京での開催を予定しております。

詳細は別途ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

（営業推進部）



## [Finet Announcement] ファイネット・アナウンスメント

## 「手続きサイト」リニューアルのご案内

このたび、各種お申込みや登録内容の閲覧にご利用いただいておりますインターネットサービス「手続きサイト」のリニューアルを実施しました。これまでの商品流通VANサービス向けから、資材VANサービスや商品情報DBサービス（FDB）会員の皆様もご活用いただけるよう、メニューを拡充しております。また、利便性向上をテーマとして主に次の内容について変更しております。ご活用のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 〈主な変更点〉

- ①24時間（無休）サイトオープン（申込受付業務時間：9:00～17:30（月～金）、毎木曜日 22:00～24:00メンテナンスのため停止）
- ②処理の自動化により「データ交換開始」申込手続きから利用開始までの時間を短縮
- ③Web申込メニューの拡充によりスムーズな手続きを実現（担当交代等）
- ④手続き途中の一時保存機能を追加
- ⑤お申込み内容の受付状況をEメールにてお知らせ。

「手続きサイト」の操作方法やログインIDに関するお問い合わせ先

ファイネットヘルプデスク ☎0120-091-094（フリーダイヤル）受付時間 7:30～23:00（無休）

## 東日本大震災に対する義援金について

このたびの東日本大震災につきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

当社は、東日本大震災の被災地復興・救援のため、

2012年3月に日本赤十字社を通じて、前年に引き続き、500万円の寄付を実施いたしました。

被災地の日も早い復興を心よりお祈りいたします。



株式会社ファイネット

FINE FINET（ファイン・ファイネット）

Vol.23 2012 Spring 2012年4月25日発行

[発行] (株) ファイネット 東京都中央区日本橋兜町13-2 偕成ビル（本館）7F 〒103-0026  
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499

[編集・発行責任者] 仲小路 啓之



<http://www.finet.co.jp>